

# 建学の精神・学園訓、桐蔭横浜大学憲章

## ■建学の精神

1. 社会連帯を基調とした、義務を実行する自由人たれ。
2. 学問に徹し、求学の精神の持ち主たれ。
3. 道義の精神を高揚し、誇り高き人格者たれ。
4. 国を愛し、民族を愛する国民たれ。
5. 自然を愛し、平和を愛する国際人たれ。

## ■学園訓

1. すべてのことに「まこと」をつくそう。
2. 最後までやり抜く「強い意志」を養おう。



### 学園章（五三桐）の由来

初代理事長と前理事長の母校、旧制東京高等師範学校（現・筑波大学）の校章にちなんでいます。桐には、瑞鳥・鳳凰が宿るとされています。千里万里を大翔る前に、鳳凰がその力を養うのが桐樹の蔭です。桐蔭の下にあって未来に羽ばたく若者たちを鳳凰になぞらえています。桐蔭の庭に学ぶ誇りの象徴として、秘めた力と気品のこもった落ち着いたある図案意匠となっています。

## ■桐蔭横浜大学憲章

### 教育目標

日本社会と世界の将来像に照らして、社会貢献できる人材を育成する。大学生、大学院生が、自ら判断する能力と実行力を磨き、仲間と協同することもできる人間に鍛える。  
人権意識に目覚めさせ、市民性の涵養を行う。

### 教育システム

少人数教育により、教員と学生が、常に切磋琢磨できる機会が与えられるように教育環境を整える。  
教職員は、常に、熱き心と冷静な頭脳でもって学生に接する。

### 研究活動

国際水準の研究を推進し、成果を出す。産学の連携と地域貢献にも力を注ぐ。

### 国際交流

世界各国と、留学生を介した交流を盛んにし、教職員の国際化に努める。  
英語教育の充実に努める。

### 組織運営

適正な手続きによって大学を運営する。苦情処理の諸機関を充実させ、男女共同参画にも十分配慮する。  
良質の教職員スタッフを揃える。  
研究設備と教育設備の充実をはかる。  
教育情報を公開する。  
自己点検・自己評価を定期的実施し、常に改善を心がける。

# 桐蔭学園沿革

桐蔭学園は、横浜市西北部の鶴見川沿いの緑豊かな丘陵に、昭和 39 年に高等学校を設立することから発足しました。その後、工業高等専門学校、中学校、小学校、幼稚園を設置し、学園は大きく発展し、それと同時に、文武両道の学園として全国に名が知れ渡るようになりました。

この基盤に立って学園の理想であった一貫教育を達成するため、昭和 63 年 4 月、工学部 2 学科からなる「桐蔭学園横浜大学」を設置しました。平成 4 年には同大学院工学研究科修士課程、平成 5 年 4 月には同法学部、平成 6 年 4 月には同大学院工学研究科博士後期課程、平成 9 年 4 月には同大学院法学研究科修士課程が設置されるとともに、平成 9 年 4 月より大学の名称が変更になり、「桐蔭横浜大学」となりました。

桐蔭学園の主な沿革は、次の通りです。

1964 (昭和 39) 年	4 月	学校法人桐蔭学園設立、桐蔭学園高等学校設置開設
1965 (昭和 40) 年	4 月	桐蔭学園工業高等専門学校開設
1966 (昭和 41) 年	4 月	桐蔭学園中学校開設
1967 (昭和 42) 年	4 月	桐蔭学園小学部開設
1969 (昭和 44) 年	4 月	桐蔭学園幼稚部開設
1981 (昭和 56) 年	4 月	桐蔭学園高等学校・中学校女子部開設
1985 (昭和 60) 年	4 月	女子部 (中・高) 新校舎竣工
1988 (昭和 63) 年	4 月	桐蔭学園横浜大学工学部開設、桐蔭学園横浜大学技術開発センター開設
	8 月	桐蔭学園横浜大学附属図書館開設、桐蔭学園横浜大学電子計算機センター開設
		高 3 進学棟竣工、本部管理棟竣工
		桐蔭メモリアルホール (現 桐蔭学園シンフォニーホール) 開設
1991 (平成 3) 年	11 月	桐蔭学園工業高等専門学校廃止
1992 (平成 4) 年	4 月	桐蔭学園横浜大学大学院工学研究科修士課程開設、財団法人ドイツ桐蔭学園開設
1993 (平成 5) 年	4 月	桐蔭学園横浜大学法学部開設、桐蔭学園横浜大学桐蔭人間科学工学センター開設
		桐蔭学園横浜大学桐蔭法律プロフェッショナルセンター開設
1994 (平成 6) 年	4 月	桐蔭学園横浜大学大学院工学研究科博士後期課程開設
	6 月	桐蔭学園横浜大学大学情報センター (学園第 1 図書館) 竣工
1997 (平成 9) 年	3 月	高校男子部新校舎竣工
	4 月	桐蔭横浜大学へ名称変更、桐蔭横浜大学大学院法学研究科修士課程開設
		桐蔭横浜大学国際交流センター開設
1999 (平成 11) 年	3 月	総合体育館竣工
	4 月	桐蔭横浜大学工学部学科改組 (第 1 次)、桐蔭横浜大学法学部昼夜開講制開設
		桐蔭横浜大学大学院法学研究科博士後期課程開設、
		桐蔭横浜大学先端医用工学センター開設、桐蔭横浜大学桐蔭生涯学習センター開設
2000 (平成 12) 年	1 月	学園第 2 図書館竣工
2001 (平成 13) 年	4 月	桐蔭学園中等教育学校開設、桐蔭横浜大学留学生別科開設
	5 月	桐蔭学園メモリアルアカデミウム (現 桐蔭学園アカデミウム) 開設
2003 (平成 15) 年	4 月	桐蔭横浜大学大学院工学研究科修士課程改組
2004 (平成 16) 年	2 月	桐蔭学園交流会館開設
	4 月	桐蔭横浜大学大学院法務研究科 (法科大学院) 開設
2005 (平成 17) 年	4 月	桐蔭横浜大学工学部学科改組 (第 2 次)
		桐蔭横浜大学医用工学部開設、桐蔭横浜大学大学院工学研究科博士後期課程改組
	12 月	桐蔭横浜大学留学生別科廃止
2007 (平成 19) 年	4 月	桐蔭横浜大学メディアエイション・交渉研究所開設
2008 (平成 20) 年	4 月	桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部開設
	7 月	小学部第 2 校舎竣工
2009 (平成 21) 年	4 月	桐蔭横浜大学医用工学部学科改組
2010 (平成 22) 年	3 月	大学中央棟竣工
2012 (平成 24) 年	3 月	財団法人ドイツ桐蔭学園閉鎖
2014 (平成 26) 年	4 月	医用工学部実習棟竣工
	5 月	桐蔭横浜大学工学部廃止
	11 月	創立 50 周年記念式典
2015 (平成 27) 年	4 月	桐蔭横浜大学大学院スポーツ科学研究科開設
2016 (平成 28) 年	2 月	大学体育館竣工 (新設)

# 校歌

## 桐蔭学園歌

加藤楸邨 作詞  
荒川よう 作曲



1. ほ の ー ぼ の ー と も え い で し く さ の  
4. お ほ ー ぞ ら ー の せ つ こ の あ お さ ま



ぞ み あ ー り ふ か く ゆ た か に た た へ た る  
こ と あ ー り さ む き き び し き は て し な き



も ろ く さ の ね の い と な み の い ま あ ら は れ し し る し な  
よ の あ ら き み ち つ ら ぬ き て こ の さ ゆ る も の み を ひ た



る い ま い ま あ ら は れ し し る し な る  
せ こ の こ の さ ゆ る も の み を ひ た せ

※1、※2は3番  
の歌詞のときのみ  
右のように歌う。



を か り わ た る み お の づ と む か

### 1 ほのぼのと

萌え出でし草  
のぞみあり

深くゆたかに たたへたる  
もろくさの 根のいとなみの  
いま あらはれし しるしなる

### 3 阿夫利嶺を

雁わたる見ゆ  
未来あり

もとめもとめて あふれくる  
もろもろの胸 いつしらず  
おのづとむかふ ところあり

### 2 いかづちや

くろがねの森  
ちからあり

枝をかはして きそひあふ  
おのおのの 木の恋ひやまぬ  
向きさまたぐる ものはなし

### 4 大空の

雪後の青さ  
まことあり

さむききびしき はてしなき  
世の荒き道 貫きて  
この冴ゆるもの 身をひたせ